

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	大村洋子
発言の会議	令和6年11月28日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ 議案第 113 号 福祉援護センターの指定管理者の指定について 及び議案第 99 号 令和6年度横須賀市一般会計補正予算(第7号) について

福祉援護センターかがみ田苑に係る 2025 年 4 月 1 日から 5 年間の指定管理者選考のための委員会が開催され、申請のあった 2 団体のうち 1 団体が選考された。私たちは約 4 年間福祉援護センターかがみ田苑の運営について何度も議会で取り上げ市の姿勢を追及してきており、今回の選考についても注視してきた。選考委員会を傍聴し、選考された社会福祉法人海風会とも懇談をさせていただいた。

- (1) 福祉援護センターの指定管理者として選考された社会福祉法人海風会の人員体制は適正なのか。今回、指定管理者の引き継ぎ業務に係る経費として、500 万円を計上した補正予算議案が同時に出ているが、そもそも引き継がれるべき相手の人員が確保されていないのではないかと。スタッフの人員確保の現状について市長はどのように説明を受けておられるのか。引継ぎはスムーズに行われるとの御認識か。
- (2) 海風会との懇談では、当初指定管理者の公募に申請する予定だった別法人が急に申請できなくなった結果、代表で海風会が手を挙げたという趣旨のお話をされた。これは指定管理者制度

の申請の在り方として適正なのだろうかと感じたが、市長はいかがお考えか。

- (3) 海風会が福祉援護センター条例第8条でうたわれる物的能力も人的能力も備えておらず、急ごしらえの申請者であったのではないかということ、また、当初予定の事業者が申請しなかった場合に、他の事業者が申請するというようなことが行われていたとすれば、これは看過できるものではない。市は海風会に事実を確認することが必要ではないか。
- (4) 申請の段階においても疑義があるので、選考をやり直すべきと考える。市長はいかがお考えか。